

文部科学省委託事業
AG5「在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業」



みんなの日本語を伸ばす 授業づくりアイデア 31



2022年2月

公益財団法人 海外子女教育振興財団

はじめに

AG5では2017年度から「補習授業校における日本語能力向上のための総合的なプログラム開発」を進めてきました。ダラス補習授業校を中心にして、日本語力が多様な子どもたちが共に学ぶための授業づくりを行なってきました。この取り組みはこの5年間でアメリカだけでなく、世界各地の補習授業校に広がってきました。多くの先生方にご参加いただき、このプロジェクトは大きな飛躍をとげています。2020年度には、これまでの成果として『楽しく日本語を伸ばす補習授業校学習活動計画集』を作成しました。

それに続いて、今回、『みんなの日本語を伸ばす授業づくりアイデア 31』をお届けします。ダラス補習授業校を中心にして、インディアナ、プリンスストン、デトロイト、シンシナティ、ワシントン、シアトル四つ葉学院の各補習授業校、さらにミラノ補習授業校やメキシコのケレタロ補習授業校からも授業実践のアイデアを寄せていただきました。ここには、補習授業校の授業づくりに必要なアイデアが満載です。しかも、授業づくりのテクニックや学習活動の組み立て方についてもわかりやすく解説されています。

このアイデア集ではさまざまな授業の提案が見られます。1つ目は日本語力が多様な子どもたちが共に学ぶための授業づくりです。2つ目は日本語の力と同時に、子どもたちの創造力を伸ばすための授業づくりです。紙芝居、シナリオづくり、ビブリオバトル、そしてリレー作家ゲームなど授業づくりのアイデアが詰まっています。3つ目は日本語力が十分でないため子どもたちが意欲を持って学んでいくための教材づくりや学習活動の進め方についてです。そして、4つ目は現地校の学習とリンクさせながら日本語力を向上させるような取り組みです。この他、オンラインでの取り組みや家庭での学習を活かした反転授業などのアイデアも示されています。

ここで提案されている実践は、これからの補習授業校の方向性を示していると思います。このアイデア集をご覧になり、自分で実践をしようと思えば、QRコードから詳しい内容を見ることができるようになっています。ぜひ、多くの補習授業校の関係者に参考にしていただければ幸いです。

最後に、実践をお寄せいただいた先生方に深く感謝申し上げます。

AG5運営指導委員長 佐藤 郡衛

このアイデア集の使い方

授業の準備は、子どもたちの活動の準備です。

みんなが楽しく取り組める活動のヒントがほしいときご活用ください。

QRコードから、AG5ウェブサイトにある授業の詳しい報告をごらんいただけます。サイトにある教材、ワークシートなどはご自由にお使いください。

授業づくりアイデア 31

目次

01 国語以外の教科にヒントがある	小4	国語	社会	「発見！わたしたちのテキサス（１）」	1
02 現地校で身につけたスキルを生かす	小4	国語	社会	「発見！わたしたちのテキサス（２）」	2
03 表現方法を選んで伝える	小4	国語		「写真と文で活動を伝えよう！」	3
04 グループでアイデアを引き出す	小4	国語		「自分の考えをつたえるには」	4
05 ゲームで想像を広げPOPで相互評価	小5	国語		「一まいの写真から」	5
06 「今の話題」で世界を見る	小5	国語	社会	「グラフや表を用いて書こう」	6
07 「紙芝居型本文」を作る	小5	国語		「天気を予想する」	7
08 文章読解の先に目標を定める	小6	国語		「『鳥獣戯画』を読む」	8
09 関連図書でビブリオバトル	小6	国語		「未来がよりよくあるために」	9
10 本物を用いた授業をする	小1	国語		「しらせたいな みせたいな」	10
11 楽しくスモールステップで書く	小2	国語		「こんな もの、見つけたよ」	11
12 教科書のモデル文をヒントに	小3	国語		「すがたをかえる大豆」	12
13 ステーションで体験活動	小4	国語		「だれもが関わり合えるように」	13
14 日本語力に応じた支援でスピーチ大会	小5	国語		「すいせんします」	14
15 心の変化を色で表す	小6	国語		「海の命」	15
16 ディスカッションで「書く意欲」を高める	中2	国語		「根拠を明確にして意見を書こう」	16
17 ちがう学年を結びつける	小1 小2 小3	国語	生活	「秋のおもちゃを作ろう」	17
18 心情曲線で気持ちの変化を捉える	小3	国語		「三年とうげ」	18
19 聞いてくれる相手を想像する	小4	国語		「ランドセルは海をこえて」	19
20 体を使って「平均」の意味を実感	小5	算数		「平均」	20
21 にせものと本物を比較する	小6	社会		「わたしたちのくらしと日本国憲法」	21
22 グループ活動で数学を楽しく	中1	数学		「比例、反比例の利用」	22
23 リズムを感じて古典に親しむ	中2	国語		いにしへの心を訪ねる「漢詩の風景」	23
24 紙芝居で楽しく表現する	小1	国語		「やくそく」	24
25 作品をプレゼントにする	小2	国語		「お話のさくしゃになろう」	25
26 作品と同じジャンルの物語を創作する	小4	国語		「初雪のふる日」	26
27 ロールモデルとつなげる授業	小6	社会		「世界の未来と日本の役割」	27
28 手紙やビデオで伝えよう	小4	国語		「ウナギのなぞを追って」	28
29 教科を関連づけて深める	小6	算数	国語 社会	「メディアと人間社会」	29
30 古典への関心を高める	高校	国語		「児のそら寝」	30
31 下級生に教える場面を作る	中1	数学		「変化と対応」	31



小4 国語 社会 「発見！わたしたちのテキサス（1）」
（ダラス バーバー悦子 2017）

子どもたちを楽しく活動させるには、発達段階にあったテーマを選ぶことが大切です。国語以外の科目で取り上げられているのは、長い経験からその段階の子どもたちに合うことが分かったテーマです。4年生が社会科で自分たちの街を調べるのもその一つです。

使える授業テクニック

- ・ クイズ大会の形で情報に関心を持たせる。
- ・ 前半は各グループから一人ずつが集まって一つの観点で調べ、エキスパートになる。後半でグループに戻って調べた結果を報告する。（ジグソー法）
- ・ 「～には、～があります。」など、言い方のパターンを示して、話したり書いたりさせる。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	自分たちが住んでいるテキサス州の特色に注目しよう。 ・ 教科書をもとに調べるポイントを確認する。 ・ グループの中での分担を決め、家庭学習で情報を集める。
2	調べてきたことを伝えよう。 ・ 前半はグループ代表が観点ごとに集まり、調べた情報を伝え合う。 ・ 後半はグループに戻って担当した観点の情報を伝え合う。
3	クイズ大会（Jeopardy!）に向けて効果的な質問を作る。 ・ エキスパートグループで、難易度1～3の問題を作る。 ・ かんたんな説明もできるよう準備する。
4	「わたしたちのテキサスクイズ大会（Jeopardy!）」を楽しむ。 ・ チーム対抗でクイズ大会をする。 ・ 簡単ごとにエキスパートグループが問題を出す。

ページ執筆：佐々信行



小4 国語 社会 「発見！わたしたちのテキサス（2）」
(ダラス バーバー悦子 2017)

授業時数が少ない補習校。国語科と社会科を合科にすることで、少ない時数で両教科の「良いとこどり」を目指します。また現地校では、発表、プレゼン活動が活発な学校が多いです。そこで身につけた「プレゼン力」を、補習校授業の発表活動で生かせたらいいですね。表現活動は「相手意識」と「目的意識」が大切といわれます。本授業では「参観に来てくれる保護者」を表現の「相手」として明確に設定し、ポスターセッションで「テキサスのよさ」をプレゼンすることを「目的」として明確にしています。

使える授業テクニック

- ・「報告書」の書き方を教科書のモデル文で学び、学んだ表現（表現モデル）を使って書く。
- ・ポスターセッションを学習活動に取り入れ、現地校で身につけた「プレゼン力」を生かす。
- ・ルーブリック評価の導入で、子どもも教師も「学び」の確認。（脱「業者テスト頼みの評価」）

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	単元のめあて「自分たちの住んでいる地域の特色やよさを調べ、発表する」を確認し、学習計画をたてる。（調べること、調べ方、発表の方法等の学習）
2	家庭学習で調べてきたことを、報告書（発表原稿）として書く。教科書のモデル文から、報告書の文章構成、使われている表現（表現モデル）を学ぶ。
3	発表の準備をする。 ・ポスターの書き方を知る。 ・ポスターセッションの進め方や発表の仕方を学習する。（家庭学習でポスターの作成、発表の練習）
4	参観者（オーディエンス）に「テキサスのよさ」を伝えよう。 ・授業参観に来てくれた参観者にポスターセッションを行う。 ・学習（調べ学習、ポスターセッションの準備、発表等）の振り返り（ルーブリック評価表の記入）



自分たちの補習授業校や現地校・地域での活動には、よさが多々あります。それをクラスの友達だけでなく他地域の友達にも伝えようとする事で、子どもたちの学びは広がっていきます。自分が得意な表現方法を選択できることで、日本語で伝えることへのモチベーションも高まります。



使える授業テクニック

- 子どもたちに写真のある部分だけを見せることで、何の活動をしているのか興味関心を高める。
- 活動のキーワードや様子がわかることばを付箋紙に書いて、写真やカードに貼ることで、伝えたい内容を膨らめる。
- 日本語力やITスキルに合わせて、リーフレット、PPT、VTR等の表現方法を選択できるようにする。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	写真を使って、ブレインストーミング「これはなんでしょうゲーム」をする。 ヒントを出したり質問をしたりしながら、詳細を確認したり伝えたいことを膨らめたりする。
2	伝えたい相手・内容・伝え方（リーフレット/PPT/VTR）を決める。 伝えたいことを、「はじめ」「中」「終わり」のカードに書く。
3	カードやモデル文を参考にして、伝えたい活動にあう文を考える。 写真と文を組み合わせ、自分が決めた伝え方の方法で仕上げる。
4	出来上がったリーフレット/PPT/VTRを発表し合う。 友達のリーフレット/PPT/VTRの良いところを話し合う。 説明のしかたの工夫や分かりやすく伝える文章について整理する。



小4 国語 「自分の考えをつたえるには～おすすめの場所は？」
(ダラス バーバー悦子 2018)

そこに住んでいるからこそ知っているおすすめの場所や情報。グループでゲーム感覚で楽しむうちに、どの場所をおすすめしたいのか、自分の考えがはっきりしてきます。ブレインストーミングでアイデアを引き出すことによって、主体的に意見文を書く活動に取り組むことができます。

使える授業テクニック

- サイコロの面のテーマに合わせて話することで、おすすめの場所への関心を高める。
①遊びにいくなら ②スポーツをするなら ③買い物をするなら ④～するなら
- おすすめの場所カード（白）、理由カード（黄色）と事例カード（青色）を活用することで、理由や事例、組み立てを意識して書けるようにする。
- なぜおすすめなのか、根拠や理由を表すためのモデル文を提示して、意見文を書くための支援をする。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	グループで「サイコロゲーム」をする。（サイコロを振って出た面のテーマについて話すことで、経験を思い出す。） はじめてダラスに来る友達にはどこがおすすめか話し合う。
2	おすすめの場所カード（白）、理由カード（黄色）と事例カード（青色）の書き方を知る。理由カードと事例カードの例を参考にして、考えたことや経験したことを各カードに書く。
3	書いたカードを整理し、組み立てを考える。 読む人が行きたくなるように、自分の考え（意見文）を書く。
4	ペアを組んで意見文を読み合う。（一人3回以上） 「行ってみたいで賞」「役に立つで賞」「おもしろいで賞」などを例にして、互いの意見文の良さを認め合う。

ページ執筆：近田由紀子



小5 国語 「一まいの写真から ～きみはベストセラー作家！～」
(ダラス 長本玲子 2019)

「物語を書きなさい」と言われても、そもそもアイデアがなかなか……。そんな時、「リレー作家ゲーム」で楽しみながら物語の想像を広げてみました。また自分の好きなPOP物語、または人気のある物語は、わくわくドキドキする物語は、どのような「表現の工夫」をしているのかを、自分の好きな物語や人気のある物語から学び、その表現を自分の物語に生かします。書けた物語を友だち交換し、互いにその物語のPOPを書きます。POPは授業で学んできた「学習の観点」で書くので、どのような観点で物語を書けば良いのかを、POP作りで再度確認できます。書き上げた自分だけの物語と、友だちが作ってくれた嬉しいPOP。もう気分はベストセラー作家！

使える授業テクニック

- ・「リレー作家ゲーム」で物語の構想を考え、想像の広がり促す。
- ・「物語文」の書き方や表現の工夫を教科書のモデル文、図書館の本等で学び、学んだ表現（表現モデル）を使って書く。
- ・子どもたちの相互評価に、「POPの作成」を導入。楽しみながら観点に沿って友だちの作品を評価し、自分も友達からのPOP評価をもとに自分の書いた物語を振り返る。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	物語の書き方を知り、物語を書く準備をしよう。 ・教科書の様々な物語から「構成の工夫」を考える。 ・「リレー作家ゲーム」を通して、物語の構想を考える準備をする。 ・自分の物語の構想を考える。
2	「表現の工夫」を学び、それを取り入れて物語を書こう。 ・自分の好きな本の中から「表現の工夫」を発見し、それをクラスで共有して物語づくりに生かす。 ・学んだ「構成の工夫」「表現の工夫」「物語の構想」を生かし、物語を書く。
3	書いた物語を交流して、友だちの物語のPOPを書こう。 ・POPを書くことで相互評価をし、それをもとに互いの作品について意見交換。 ・書いてもらったPOPや友だちの作品のPOPから、学習の振り返りをする。



小5 **国語** **社会** 「グラフや表を用いて書こう（社会：世界とつながる日本の工業）～日本の総理大臣になって、日本の自動車産業を考え、意見文を書こう～」(ダラス 長本玲子 2018)

日本車の日米貿易に関するトランプ大統領の発言を軸に、日本の自動車産業を考え（社会科）、意見文を書く（国語科）授業。意見文を書く題材に、社会科を関連させることで、国語と社会を合科にすることができます。自分たちに関連のある日本とアメリカの国際問題を取り上げることが、補習校の子どもたちにとって、その問題を肌で感じることができます。肌で感じられる国際問題を自分の問題として考える学習活動は、グローバル人材育成にもってこいの授業に。

使える授業テクニック

- ・アメリカでの時事問題を取り上げること、国際問題・課題を肌で感じ取らせることができる。また「日本の総理大臣になって時事問題・国際課題を考える」ことで、他人事ではなく自分の問題として考える。
- ・「資料読み取りワークシート」の表現モデルを使って、グラフや表から読み取ったことを書かせる。
- ・「意見文ワークシート」で、作文が苦手な子も書きやすく。（文章構成、どこにどんな内容を書くか、どんな表現で書くかが一目瞭然）



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	教科書のモデル文を見て、説得力のある意見文の書き方を知る。 ・教科書のモデル文の文章構成、使われている表現を考える。
2	「これからの日本の自動車産業」の意見文を書く準備をする。 ・意見文に必要な表やグラフを選び、ペアワークで意見を交わす中で、グラフから読み取れること、考えられることなどを話し合い、「資料読み取りワークシート」に記入する。
3	説得力のある意見文を書く。 ・「意見文ワークシート」をもとに、意見文を書く。
4	意見交換会をし、日本のこれからの自動車産業について考える。 ・「意見交換会」を開き、自分の意見を発表したり、友だちの意見を聞いたりしながら、考えを更に深める。



小学校高学年や中学の国語科説明文の単元。語彙や漢字が難しく、内容理解だけでも至難の業です。そこで内容理解を短時間で進めるための支援や活動がカギになります。また、難しい語彙の一つ一つを教えていたら時間がいくらあっても足りませんし、語彙を追っているだけでは本文の内容理解になりません。単元の目標（本文の内容理解、「論の進め方」や「効果的な説明の仕方」の理解）を達成することが目的なので、本文は「大まかに理解する」ことを目指し、「大まかに理解する」ための活動・支援を工夫します。

使える授業テクニック

- ・紙芝居型本文（段落ごと1ページにし、写真・図・グラフ・表等を対応させたもの）で、説明文の内容理解を。
- ・「問い」「答え」ワークシートで、本文の内容理解をすすめたり、論の展開の仕方を学んだり。
- ・「本文バラバラ事件」「図表やグラフ、写真バラバラ事件」の学習活動で説明文の内容理解を一層深く。
- ・日本語以外の言語が強い子は、大切な用語の翻訳表も有効。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	教科書本文の内容をつかむ。 ・紙芝居型本文を使って、教科書本文を読む。 ・「問い」「答え」ワークシートを記入することにより、本文の内容を考える。
2	本文の内容を理解し、説明の仕方の工夫を見つける。 ・「図表やグラフ、写真バラバラ事件」「本文バラバラ事件」で本文の内容を読み取り、それを友だちに説明することにより、より深く理解する。 ・筆者が用いた「説明の仕方の工夫」を考える。



説明文の読解を目標に置くのではなく、題材を自分の見方で解釈し説明するシナリオを創作することを目標にすることで、動機を高めます。様々な活動のレベルを少しずつ上げながら繰り返し練習することで、無理なく力をつけていくことができます。家庭の力も借りて学習する習慣をつけ、音読を効果的に練習します。

使える授業テクニック

- ・ NHK「読み書きのツボ」を視聴して、反転学習を行う。
- ・ 反転学習で学んだことを用いて、アート絵本を使った物語創作即興スピーチを行う。
- ・ 本文の音読を家庭で動画撮影し提出させることで、保護者の協力体制を整える。
- ・ 題材の本文に使われていない部分を用いて、アフレコ用のシナリオを作成し、発表する。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
	ものの見方を学ぶ。
1	・ NHK「読み書きのツボ」を用いて反転学習を行う。 ・ 絵を見て、5W1Hの情報を考えながら物語即興創作スピーチを行う。
2	鳥獣戯画を自分の見方で解釈する。 ・ 本文を読み、各グループで担当した段落の内容についてクイズを作り、クイズオリエンテーリングを行う。 ・ テキストの音読テストを動画で提出する。
3	鳥獣戯画を自分の見方で解釈する。 ・ 鳥獣戯画の本文に出てくる箇所以外の部分をみて、各シーンの描写を解釈してシナリオを作る。 ・ アート絵本の絵から、話を構成し、スピーチの原稿を書く。スピーチを発表する。
4	鳥獣戯画の解釈を表現し、評価する。 ・ 各グループで作った鳥獣戯画のシナリオをもとにアフレコ発表会を開催し、相互評価を行う。



自分の未来、社会の未来について考える題材をもとに、意見を考え伝え合います。「なたもだ」作文という手法を使って、「なぜなら」「たとえば」「もし」「だから」と説明文の基礎を楽しく学びます。ポスターセッション形式で発表することにより、難しい説明文の単元を、活動を多く取り入れて学習します。

使える授業テクニック

- ・「なたもだ（「なぜなら」「たとえば」「もし」「だから」）」で即興スピーチ、作文する。
- ・他者と意見を共有し、質問しあうことで考えを深める。
- ・ビブリオバトルで読んだことを発表する習慣をつける。
- ・ポスターセッションとその練習で、発表を繰り返し効果的に行う。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
	自分の未来と未来の社会を想像する。
1	・意見文のテーマを決定する。 ・意見文構成を学習する。「なたもだ」作文を学習する。
2	課題に関連した本を読む。 ・関連した課題図書を用いてビブリオバトルを行う。
3	自分の考えがはっきり伝わるように意見文を書く。
4	・意見文の内容を推敲する。 ・テーマを絞り、文を増やしてより具体的な内容に仕上げる。
	意見文を発表する。
5	・ペアをかえながら、何回か発表練習を行う。
6	・ポスターセッション形式でクラス発表会を行う。 ・評価ルーブリックで自己評価を行う。



小1 国語 「しらせたいな みせたいな」(ダラス 羽根田美智子 2019)

ものを観察し、適切に他者に伝えるという、すべての教科や生活そのものの基礎となる大切なスキルを育てます。本物の季節のものを学習者が自ら探して持ってきて題材に取り上げることで生活科との学際的単位としました。題材をよく観察し、メモを創ることで説明する文章を書くことを意識します。

使える授業テクニック

- ・ 本物を用いて題材をよく観察し、物を表現する語句を共有する。
- ・ 書いた文章を読み返し、推敲する習慣をつける。
- ・ 文章を書く際に役立つ表現を使ったゲームを行い、動機を高め、語句の練習を楽しく行う。
- ・ 互いの文章の良いところを見つけ、褒め合うことで、次への書く意欲につなげる。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	教材を参考に、知らせたいものの観察の仕方を学習する。 ・ メモを書くとなんかことがわかるか、どんなところが良いか発表する。 ・ メモを作成し、短冊に清書する。 ・ 清書した文章を読み返す。
2	家の周りで探してきた、落ち葉、木の実、柿、ザクロなどの秋のものを紹介する文章を書く。 ・ 物の観察の仕方、メモの取り方を振り返る。 ・ 持ってきたものを観察し、メモを作成する。 ・ メモから文章を書く。 ・ 書いた文章を読み返す。
3	それぞれが探してきた秋のものと紹介する文章を読み合い、感想を伝える。 ・ 互いの文章の良いところを見つけて伝える。

ページ執筆：雨宮真一



小2 国語 「こんな もの、見つけたよ」(ダラス 上野 更 2019)

書くことに苦手意識を持っている子どもたちも、子どもを惹きつける楽しい活動やわかりやすい説明、スモールステップで学習を進めると、伝えたいことを書き上げることができます。学習活動の工夫次第で、子どもたちのやる気を引き出したり、書いて伝えることの楽しさを味わわせたりすることができます。

使える授業テクニック

- ・「見つけたよダイス」で遊びながら話し合いを進めることで、学習意欲を高める。
- ・文章の組み立てを説明するスライドに、ハンバーガーのイラストを使用して、「はじめ」「中」「おわり」をわかりやすく伝える。
- ・文を書くときは、短冊を使ってスモールステップで進める。
- ・ポスターセッションによる発表で、繰り返し読んで自信がつくようにする。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	グループになって、「みつけたよダイス」をしながら、見たこと・聞いたこと・したことなどを話し合う。(「ダラスの動物」「ダラスのおうち」など) 「はじめ」「中」「おわり」それぞれにどんなことを書くのかを知る。 まず「はじめ」と「おわり」の短冊を書く。
2	「中」の部分の内容を考えて短冊に書く。 全ての短冊をワークシートに貼って文章を完成させる。 ペア・グループで読み合う。
3	ポスターセッション式に、前半、後半に分けて発表する。 発表を聞いた感想を伝え合う。 ループリックを活用して、学習を振り返る。

ページ執筆：近田由紀子



意見文や調べた事を報告する文章・作文は、日本語量に課題のある子どもたちにとってハードルが高い学習課題です。まず、そのような文章をどのように書いたらよいのか、教科書にあるモデル文を、子どもたちと共に分析します。どこに（文章構成）、何を（書く内容）、どのように（表現）書けばよいのかみつけ、それを自分の作文に生かしていきます。分析でわかった文章構成、内容、表現をサポートするワークシートで、書くための支援をしていきます。

使える授業テクニック

- ・「紙芝居型本文」
- ・教科書にあるモデル文を、みんなで分析する。（文章構成は？どこにどんな内容が？どんな表現を使っている？）
- ・分析に沿ったワークシート（作文メモ）を記入し、みんなで分析した結果を自分が書く文章に生かす。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	学習課題をつかむ。 ・紙芝居型本文で本文の内容を理解する。
2	説明文のひみつをみつける。 ・「はじめ・なか・おわり」が、どこで分けられるかをペアで話し合う。 ・「おいしく食べるくふう」と「食品」を読み取りワークシートに整理する。 ・学習を振り返り、文章構成の工夫に気づく。
3	食べ物のひみつを調べる。 ・教科書のモデル文から、「食べ物のひみつを教える文」の書き方を考える。 ・調べてみたい食品についてWEB 図を書く。
4	食べ物のひみつを教える説明文を書く。 ・調べてきたことやWEB 図を、ワークシートに整理する。
5	・ワークシートの表現モデルを、どう書いたら良いかのヒントにして書く。
6	友だちの書いた「食べ物のひみつ」を聞いたり読んだりする。 ・ペアで発表し合う活動を繰り返し、食べてみたい料理を書きとめる。 ・自分の作品や友だちの発表から、「食べ物のひみつ図かん」をつくる。



身の回りの「だれもが関わり合えるように」なされている工夫に気付かせるために、教室に4つのステーションを設置して疑似体験をさせることによって、調べ学習の課題を決定するための選択肢が広がり、興味をもって取り組むことができました。

使える授業テクニック

- ・だれもが関わり合えるようにするための様々な工夫を、実際に体験させ、気付かせる。
- ・「はじめ、中、終わり」を意識した構成表のワークシートを毎回使用する。
- ・聞き手の数を徐々に増やしたり少人数の前で発表したりすることで、緊張することなく楽しく発表できる。友達から丸やよいところを書いてもらうことで発表の励みになった。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	身の回りの「だれもが関わり合えるように」なされている工夫について知り、自分の課題を決める。 ・教室の各コーナーにステーションを設置して体験活動をする。 ・体験や友達の発表などから自分の課題を決める。
2	調べてきたことを整理して、自分が一番伝えたいことを決め、発表原稿の構成メモを仕上げる。
3	・文章の構成を学び、自分のカードを整理して中心となる事柄を決める。 ・メモを並べて構成メモを仕上げ、それをもとに発表原稿を書く。
4	伝えたいことがはっきりわかるように発表し、友達の発表の良いところを見つける。 ・（話し手）視線、声の大きさ、読む速さなどに気を付けて発表する。 ・（聞き手）話し手の伝えたいことは何かを聞き取り、発表の良い点を見つける。



補習校では、様々な日本語力の子どもたちが一緒に学んでいます。課題に対して、同じ指導だと日本語力に課題がある子どもたちには難しい場合が多いです。個に応じた支援、スモールステップで課題に迫る方法で、日本語力に課題がある子どもたちでも表現しやすくしていきます。また紹介したくなる題材と、スピーチ大会の開催で、子どもたちに「相手意識・目的意識」を持たせて意欲づけをしていきます。

使える授業テクニック

- ・ワークシートでスピーチ原稿作成を支援。
- ・ワークシートでのスピーチ原稿が難しい場合、推薦したい理由を短冊（すいせんカード）に一つ一つ書き、それをつなぎ合わせてスピーチ原稿の完成。（日本語力に応じた支援）
- ・「オーディエンスカード」で聴く時の観点を明確できる。またそこで、「説得力のあるスピーチ」の仕方を再度確認できる。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	学習課題をつかみ、スピーチの構成について考える。 ・「説得力のあるスピーチ」の構成や、そこで使う表現を、教師のスピーチや教科書のスピーチ文をもとに考える。
2	「説得力のあるスピーチ」を考える。 ・お薦めの場所を推薦する理由を明確にするために、ワークシートに整理する。 ・日本語力に応じて「すいせんカード」をもとに、推薦する理由をはっきりさせる。短冊の「すいせんカード」を台紙に貼り、スピーチ原稿を完成させる。
3	スピーチの練習をする。 ・デジタル教科書のスピーチ動画をみて、効果的なスピーチの仕方を話し合う。（話す速さ、強調の仕方、資料の使い方、間の取り方等） ・スピーチ原稿や学んだ効果的なスピーチの仕方を意識して練習する。 ・ペアで発表し合い、相互評価をして意見交換をする。
4	「ここに旅行に行ってみたいコンテスト」を開く。 ・スピーチの工夫を確認し発表する。 ・「オーディエンスカード」で聴く時の観点を明確にしてから、友だちの発表を聴き評価する。



登場人物の人間関係や心の変化に心を寄せて物語を読み、「生き方」や「命」についても考えを深めることをねらいます。物語のクライマックスをとらえるために、主人公の心の変化を表す文章を探す、その変化を各自の感じる「色」で表すなど、ワークシートやクイズを使って様々な仕掛けを用意しました。そのように感じた理由をお互いに説明し合う、登場人物へのビデオレターを作成・発表するなど、対話的な学びを深める活動も効果的です。

使える授業テクニック

- ・「人物相関図」を作って、登場人物同士の関係性を把握させる。
- ・「次はどうなる?」「その言葉、だれのもの?」などのクイズ形式で物語の展開や登場人物のセリフを予測させる。
- ・主人公の心が一番変化した「一文」を探し、物語のクライマックスをとらえる。
- ・主人公の心の変化を「色」を使って表現させ、その色を選んだ理由を説明させる。
- ・登場人物へのビデオレターをクラス全体で作り、発表する。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	ワークシートやクイズを用いながら、物語の全体をつかむ。
2	・「次はどうなる」クイズに答えながら教師の範読を聞いたのち、音読練習。 ・ワークシートで観点を確認 ・クイズ「その言葉、誰のもの?」
3	登場人物の関係をとらえる。 ・主人公と登場人物とのかかわりを人物相関図にあらわし、人物の心情に迫る。
4	物語のクライマックスをとらえる。 ・主人公の心が一番変化した一文を探し、ペア〜グループ〜全体で共有。 ・「暗黙知」を使い、主人公の心の様子を色で表現する。
5	登場人物の生き方について考える。 ・「もしもクイズ」を用いながら、主人公の行動の理由を考えて、話し合う。
6	学習成果の発表と交流 ・物語に書かれていない主人公の気持ちを考え、ビデオレターにして発表する。



中2 国語 「根拠を明確にして意見を書こう」
(ダラス 大野真由美 2019)

「意見文を書きたい」という意欲を高めるために、グループ活動やパネルディスカッションなどをととして、自分や相手の立場を明確にするとともに、それを支える根拠を集めましょう。また、事実と意見を区別する語句や、意見文の構成の型を事前に習得することも、意見文を書く上で有効です。

使える授業テクニック

- ・ グループディスカッションやパネルディスカッションをととして、論理的に意見を述べる経験を積む。
- ・ 意見文を発表し、講評し合うグループ活動をする。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	「地球の未来」に関する課題を決め、自分の立場を明確にする。 ・ 各自が持ち寄った記事や情報をクラスで紹介する。 ・ カテゴリーごとのグループディスカッションで意見を交換する。 ・ 自分の意見や、その根拠を明確にする。
2	根拠を明らかにし、より説得力のある意見を確立する。 ・ パネルディスカッションを通して、自分の意見や根拠、それへの反論について考えを深める。
3	構成を考え、意見文にまとめる。 ・ 意見文の構成の型や留意点を確認する。 ・ 構成メモを作成する。
4	意見文を発表する。 ・ グループで意見文を読み合い、良い点や改善点を話し合う。

ページ執筆：渋谷真樹



小1 小2 小3 国語 生活 「秋のおもちゃを作ろう」
(ダラス 長本玲子 2021)

年齢の違う子どもたちを交流させることで、子どもの力を引き出します。同学年の中では日本語力が強い方でなくても、下の学年に教えるというシチュエーションでは自信をもって活動できます。毎年続けると「来年が楽しみ」というモチベーションも生まれます。

使える授業テクニック

- ・書いたものを「誰に読んでもらうか」意識させる。
- ・書くことを実際の行動に結びつける。
- ・必要な言葉のリストを示す。(順序を表す言葉、工作に関する言葉)



学習活動計画ダイジェスト 小2

時	学 習 活 動
1	(国語) 教科書の説明を読んで馬のおもちゃを作る。
2	・どんな説明文が分かりやすいかを考える。
3	
4	(生活) 木の実などを使って秋のおもちゃを作る。
5	
6	(国語) おもちゃの作り方を1年生に説明する文章を書く。
7	
	3年生に説明文を分かりやすく直してもらう。
8	(国語) 3年生に直してもらったところを参考にしながら、1年生のための説明文を清書する。
9	(生活) 友達が書いた説明文を読んでおもちゃ作りをし、秋を楽しむ。

ページ執筆：佐々信行



教科書の長い物語文。日本語に課題のある子どもたちにとっては、まず内容を捉える、理解するのが難しい。その上、登場人物の気持ちをとらえ、その気持ちの変化を考えていくのは至難の業。そこで「心情の変化を捉える」という授業の目標に沿って大胆に本文をリライトし、内容を理解しやすく。それを「紙芝居型本文」にすることで、更に分かりやすく。

「気持ちを表す言葉に注目させる」「登場人物の気持ちを曲線で描かせる」ことで、心情の変化を捉えられるように工夫。「音読劇の発表会」の実施で「相手意識・目的意識」を持て、学習意欲も向上。日本語力が多様なクラスでも、共に学び合える授業に。

使える授業テクニック

- ・「音読劇の発表」という「目的意識」と「相手意識」を持たせることで、学習意欲を向上。
- ・紙芝居型本文で内容理解を促す。
- ・目標に沿ったリライト教材を用意（「気持ちの変化を捉える」ための必要最小限の文を絞り込んで：日本語力に課題がある子への支援）
- ・「心情曲線」を描くことにより、主人公の気持ちの変化を視覚的に捉えさせる。
- ・心の様子を表す表現をピックアップすることで、気持ちの変化を捉えやすく。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
0	物語の内容を知る。 ・リライトした物語文を、「紙芝居型本文」にしたものを使って学習を進める。
1	物語の組み立てをとらえる。 ・物語の展開を他の物語でとらえ、三年とうげはどうか考える。
2	登場人物の気持ちの変化をとらえる。 ・心の様子を表す言葉に注目し、どの場面で心情が変化していったかを捉える。 ・心情曲線を描くことで、おじいさんの気持ちの変化を視覚的に捉える。
3	音読劇の練習をする。 ・登場人物の心情をふり振り返りながら、どのように読むとよいのかを考える。 ・同じ場面の担当者同士で練習し、意見交換・相互評価をする。
4	音読劇の発表会をする。 ・今までの学習をふり振り返り、どう音読すればよいかを再度考え発表する。 ・「ふりかえりシート」を使って学習をふりかえる。



小4 国語 「ランドセルは海をこえて」
(シアトル四つ葉学院 湯村絵里 2020)

自分のスピーチを聞いてくれている人、自分が書いた文章を読んでくれている人の姿を想像すると、表現しようという意欲がわきます。ここでは、「世界の補習校の友達に」自分の考えを伝えるという設定にしてみました。今ではオンラインで実際にほかの補習校と結んで発表を聞き合うこともできます。

使える授業テクニック

- ・教科書以外の資料を活用して関連のある情報を集めさせる。
- ・考えたことをスライドに付け加えていく形で記録していく。
- ・上級生に練習を聞いてもらい、アドバイスを受ける。



学習活動計画ダイジェスト（オンライン）

時	学 習 活 動
1	教科書とともに、新聞やパンフレットなどを利用してアフガニスタンの子どもたちの様子を想像する。 ・自分が想像したことをスライドに記録する。 ・疑問に思ったこと、心に残ったことを。話し合う。
2	本文の「君は、どうですか。」に対する答えを発表し合う。 ・スライドの形にして分かりやすく説明する。
3	作者との交流会を行う。 ・作者への質問をするとともに、作者からの質問にも答える。 ・新たに知ったことをスライドに追加する。
4	発表の準備をし、上級生に聞いてもらう。
5	・アドバイスを聞き、効果的な発表ができるよう発表を手直しする。
6	世界の補習校の友達に聞いてもらうつもりで発表会をする。
7	・発表の目的が達成されたかどうか自分で評価する。

ページ執筆：佐々信行



教師が作成したジュースを分ける動画を見て、どうすれば均等になるか考えたり、閉眼片足立ちのタイムを班で平均値を出したりする活動を通して、平均の意味や平均の計算の仕方を学び、日常のどのような場面で平均を使うのかを理解します。

使える授業テクニック

- ・ ジュースなどを均等に分ける活動を通して、全体の量を求める気付かせることができる。
- ・ 実際に計測する活動等を行い、班で平均を出す活動に結び付ける。
- ・ 自分の班の記録と、全国の記録と比較できることを知り、平均の概念を理解する。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	「『平均』の意味と求め方を知ろう」 実践的な平均の使い方を学ぶ。 ・ 積み木で「ならす」という言葉の理解を深める。 ・ ジュースを分ける動画を見て、どうすれば均等になるか考える。 ・ 計算で求める方法を考える。 「平均値を求める計算をする」 ・ 閉眼片足立ちを行い、ブレイクアウトルームで班のメンバーの平均を求める。 ・ 平均を使えばスケールの大きなものも比較できること知る。
2	「ならす」の言葉の意味と平均値を求める計算式を確認する。 ・ 平均値から全体の量を計算する方法を学ぶ。 ・ 平均値を求めるときは0も含めること、平均値は小数の可能性もあることを理解する。

ページ執筆：三井知之



小6 社会 「わたしたちのくらしと日本国憲法」
(ダラス ギャリス裕美子 2020)

日本に住んでいない子どもたちにとって、「日本国憲法」はイメージしにくい単元です。身近なくらしに結び付けて興味を引くために、「だめだめ憲法」というにせものを作らせることを考えました。導入部分で登場するジャイアンは、「俺様の歌を毎日聞くこと」という決まりを作りました。このように自分の好きなことができる憲法を作り、それに従った結果がどうなるかを考えさせることで、日本国憲法の三原則が自分たちのくらしを守っていることを理解させるねらいです。

使える授業テクニック

- ・「だめだめ憲法」を自由に考えて発表させ、その結果どのような不都合が起こるかをグループで話し合わせる。
- ・話し合った結果を Jamboard にまとめて発表させる。

学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
0	・ 家庭学習で「NHK ドッキリ」の日本国憲法のビデオを見る。 ・ フラッシュカードを使って、日本国憲法の言葉の読みと意味を覚える。
1	日本国憲法とくらしのつながりを考える。 ・ 事件や事故の写真をみて、どんなことが起きているのか、なぜそうなっているのかを考えさせる。 ・ もし「決まり」がなかったら、自分たちの暮らしはどうなるのかを話し合い、憲法が日頃の暮らしとつながっていることを理解する。
2	「だめだめ憲法」を作って、実際の日本国憲法との違いを比較する。 ・ それに従ったらどのようなことが起きるのかを想像する。 ・ 「だめだめ憲法」が、日本国憲法の3原則のどれに合っていないかを考える。 ・ 日本国憲法と「だめだめ憲法」の違いを分析し、憲法が国家や国民生活の基本を定めていること、政治が憲法の考え方に基づいて行われていることを理解する。

ページ執筆：岡村郁子



日常生活の中にある比例や反比例の関係を見出し、数量の変化や対応のようすを考察することを通して、数学的理解や活用能力を高めます。学習内容自体は現地校ですでに学んでいる生徒もいますが、「 x が2倍になると、 y も2倍になる」などの日本語表現や、 x 軸、原点などの関数用語の定着をはかります。オンライン授業は、とかく一方通行になりがちですが、工夫次第で学習者を主体としたグループ活動を取り入れることができます。

使える授業テクニック

- ・身のまわりにある比例や反比例の関係を見出し、具体的な問題解決に数学的な見方や考え方を活用する。
- ・オンライン上でのチャットやコメント、Google フォームなどの機能を通して、生徒間の相互コミュニケーションを図る。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	比例の見方や考え方を理解し、生活場面に活用する。 ・日常生活の中にある、数量の変化や対応のようすを考察する。 ・比例の式やグラフの特徴をおさえる。 ・グループで、具体的事象の中の比例の関係について考察する。 ・グループでの話し合いの結果を、クラスで発表する。
2	反比例の見方や考え方を理解し、生活場面に活用する。 ・反比例の式やグラフの特徴をおさえる。 ・式やグラフなどを用いて、反比例の問題を解く。

ページ執筆：渋谷真樹



アメリカでの日常生活の中で、古文や漢文に触れる機会が大変乏しい生徒たちですが、白文に送り点や送り仮名を付けて訓読文を作り、訓読することにより漢詩特有の言葉遣いやリズムに興味を持ち、楽しく訓読して古典の内容を理解することで現代にも通じるものがあることに気付くことにより、実生活をより彩り豊かにすることができます。

使える授業テクニック

- ・ 中国の長大な川や広い平野、建築物などを写真や映像などを活用する。
- ・ 漢詩の訓読を繰り返すことで、漢詩の美しさやリズムをとらえ、自然の巧みな描写に気を付けながら、作者の感動や悲しみといった心情を味わわせ、漢文に親しみを持たせる。
- ・ 三編の漢詩全ての形式や構成を学べる効果的なワークシートの工夫。(資料有)



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして朗読し表現された情景や心情を想像する。 ・ 漢詩の形式や種類を知る。映像や範読から、漢詩の雰囲気をつかむ。
2	孟浩然「春暁」を読み解こう ・ 文字数や形式から「春暁」の構成を知り、情景と起承転結を対応させる。
3	杜甫「絶句」を読み解こう ・ 文字数や形式から「絶句」の構成を知り、情景の色彩表現と心理表現を理解。
4	李白「黄鶴楼にて…」を読み解こう ・ 構成を知り、親友との別離や描かれている情景をとらえ、心情を想像する。
5	情景や心情を捉えながら、白文を訓読しよう ・ 三編の漢詩の白文に送り点や送り仮名を付け、訓読文を作り言葉遣いやリズムに興味を持ち、訓読を楽しむ。1年生のための説明文を清書する。

ページ執筆：三井知之



「紙芝居で発表する」という目標を設定することで、場面や登場人物の気持ちをしっかり読み取ろうという意欲がわかります。紙芝居の絵をかく過程でも想像をふくらませて楽しめます。カメラを使ってモニターに映すようにすれば、小さい絵でもみんなで楽しむことができます。オンラインの環境でも無理なく取り組みます。

使える授業テクニック

- ・ クイズ形式で内容を確認する。
- ・ 登場人物になってせりふを考える。
- ・ 発表を聞きながら「登場人物カード」を上げてせりふの主を確認する。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	どんなおはなしか、かんがえよう。 ・ 登場人物、場所をクイズ形式で確認する。 ・ 好きな場面はどこか発表する。 ・ 紙芝居の割り当てを決める。
2	とうじょうじんぶつのだれかになって、いうことをたくさんかんがえよう。 ・ 場面ごとに、それぞれの青虫の気持ちになってせりふを考える。 ・ 場面の展開を確認する。 ・ 動作を表す言葉の意味を体を動かして表現する。
3	みんなのきもちがよくわかるかみしばいをみせよう。 ・ 気持ちを込めて会話文を読む。 ・ 声の大きさ、速さを工夫する。 ・ 「登場人物カード」で、誰のせりふか確認しながら紙芝居を楽しむ。
家	オンラインで、日本にいる親戚などに紙芝居を披露する。

ページ執筆：佐々信行



小2 国語 「お話のさくしゃになろう」(ダラス 上笹貴陽子 2021)

お話を盛り上げる「できごと」があると、ワクワクするお話づくりができます。小2で既習の単元「スイミー」の物語を例に、お話の始め・中・終わりの構成を工夫することの重要性を理解させました。自分で作ったお話をお友達に聞いてもらったり、お家の人へのクリスマスプレゼントにしたりすることで、お話づくりのモチベーションをアップさせます。

使える授業テクニック

- ・すでに習った単元を例に、お話の構成や「できごと」の重要性について理解させる。
- ・二つの絵を示し、その間に起ったできごとを想像してワークシートに書かせる。
- ・自分のお話をクラスで聞いてもらい、他己評価やルーブリック形式での自己評価を行う。
- ・作ったお話をお家の人へのクリスマスプレゼントにする。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	絵を見て、自分だけのお話を考えよう。 ・四コマの絵の「登場人物」「できごと」を確認し、お話のあらすじをまとめる。 ・登場人物の名前や人柄、「できごと」や絵から想像できる登場人物の「会話」などを考える。
2	お話に「できごと」がある理由を考えよう。 ・「スイミー」を例に、お話の「始め」「中」「終わり」の「中」で起こったできごとが、お話にどのような効果をもたらすのかを考え、言葉で表現させる。 ・お話の構成に気をつけながら、自分だけのお話を作ってみる。
3	まとまりごとに場面をつなげてお話を書こう。 ・お話が「始め」「中」「終わり」の3つのまとまりで構成されているか確認する。 ・場面に応じた適切な言葉を選んでるか、主語述語にねじれないか推敲する。
4	作ったお話をみんなに聞いてもらおう。 ・チェックシートによる他己評価、ルーブリック形式の振り返りシートによる自己評価を行う。 ・できたお話を、お家の人へのクリスマスプレゼントにする。

ページ執筆：岡村郁子



教材と同様な展開の物語を創作するという活動为目标に掲げることで、書き手の視点から物語の理解を深めます。話の始まり、展開、終わりという流れや、各部分で効果的に使われている場面転換の表現を見つけて分類することで、学んだことが創作する際に役立ちます。

使える授業テクニック

- ・教材と同様な展開の物語を創作する目标を持つことで関心を持たせる。
- ・ファンタジーの展開の一つとして、「現実世界」「異世界」「現実世界への帰着」という流れと、それぞれの部分で使われている表現を学ぶ。
- ・教材と類似した多くのファンタジーの物語を図書館から参照することで、作品の構造を学ぶ。
- ・創作したオリジナル作品を発表し合うことで、伝えることの喜びを分かち合う。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	教材本文を読み、感想を共有する。 ・登場人物を確認し、感想を共有する
2	物語（ファンタジー）の話の展開をつかみ、根拠となる表現を見つける。 ・現実世界から異世界への入り口を見つけ、異世界の現実と違う特徴を見つける。 ・現実に戻ったことを示す表現を確認する。
3	同様な展開の他の作品を読んで、話の構造を学ぶ。 ・「浦島太郎」「おむすびころりん」「舌切り雀」「めっくらもっくらどおんどん」「かいじゅうたちのいるところ」「不思議の国のアリス」など
4	ファンタジーを創作する ・5W1Hの情報を考え、基本設定を考え、各場面を考える。
5	創作した物語を発表する。 ・それぞれが作った物語を読み合い、感想を伝え合う。



コロナ禍でオンライン化が進み、世界中の人たちとリアルタイムでつながれるようになりました。タンザニアで国際協力活動をする方、オーストリアで活動する同じ補習校出身の先輩の話を生で聞き交流できた経験と、身近にいる方(今回は担任の佐藤先生)の国際協力の経験談を聞いた経験は、教科書で読んだりネットの動画視聴では決して得られないものとなるはず。

使える授業テクニック

- ・世界のグローバル人材と子どもたちをつなぐ。オンラインは強力なツールに。
- ・ロールモデルとの出会い=まさに「グローバル人材」の育成
- ・両言語併記の用語表で、英語力を授業参加や内容理解の助けに。
- ・「意見交流会準備シート」で、言葉の負荷を減らし、意見を発表しやすく。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
0	反転授業で重要語句や国際協力の概要を事前学習。
1	「国際協力」とは何かについて理解する。 ・世界の課題について、写真やニュース動画で考える。 ・反転授業のワークシートや教科書等で世界の課題、国際連合、日本の国際狭量などについて知る。 ※「国際協力活動」について家庭学習で調べ、Padletに入力する。
2	日本の人々は、どのような国際協力の活動をしているのかを理解する。 ・ゲストスピーカー2名(ジンバブエの中学高校で音楽教師、タンザニアのNGOで活動中)の話から、現地の生活や状況、行っている(行った)活動を知る。
3	自分はどんな「強み」や「可能性」を持っているのかを発見する。 ・ゲストスピーカー(ダラス補習授業校卒業生)から、補習校や現地校に通っていた当時の話や今現在の仕事や生活の様子を聞くことにより、自分の持つ「強み」や「可能性」について考える。
4	未来を創る：意見交流会をする。 ・今までの学習をふり振り返り、自分の考えや意見を確かめる。 ・「意見交流会準備シート」を活用し、友だちとの意見交換を通して更に考えを深める。



小4 国語 「ウナギのなぞを追って」
(インディアナ イレレジ礼子 2022)

「ウナギ」についての詳しいスライド資料を活用して科学読み物に興味をもたせませう。自分が興味をもったことを中心にすることで主体的に要約に取り組み、他の段落に興味をもったグループに紹介し合うことで、対話を通してよい点や改善点に気付かせませう。さらに日本にいる祖父母や知人に伝えることで、よりよい文章に仕上げる意欲が高まります。

使える授業テクニック

- ・「ウナギ」や科学読み物に興味をもてるように学年で作成したスライドの活用。
- ・日本語力の差がある子供同士で話し合い、助け合い学び合いながら要約文を作成する。
- ・自分の興味にそって学習内容を振り返り、日本にいる祖父母や知人に手紙やビデオレターで分かり易く伝えるために、構成を工夫したりよりよい表現にしたりする。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	「うなぎ」「稚魚」を見せたりし、身近なものから本単元の科学読み物に興味を持たせる。塚本教授の紹介ビデオを見る。言葉の意味を確認する。
2	文章の組み立てと大まかな内容を確認めよう。「初め」「中」「終わり」に分ける。
3	たまごを産む場所を見つけるまでの調査の道筋を確認めよう。 ・グループで興味をもったことを中心に要約し、協力して要約文を書く。
4	自分の興味にそって、文章を要約し紹介する。 ・前時に書いた要約文を他の段落に興味があったグループに紹介し発表し合う。
5	興味のある科学的読み物を紹介する。
6	日本にいるおじいさんおばあさんに学んだことを、手紙やビデオレターで伝える。 ・書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合う。

ページ執筆：三井知之



小6 算数 国語 社会 「メディアと人間社会」
(デトロイト グリーン方子 2021)

社会や生き方をテーマにした学習では、教科を関連づけることで学習課題を広い視野からしっかりと捉えることができます。教科の枠を超えた課題解決のため、子供たちはグループ交流やICTを積極的に活用し、考えを広げたり深めたりします。日本語力が十分でなくても新たな視点や考えをもっていることに自信をもち、友達に伝えようとしています。

使える授業テクニック

- ・ データを読み取るときは、自分たちの体験や経験と関連づけることで、問題を自分ごととして意識を高め、主体的に学習できるようにする。
- ・ 説明文は、内容を焦点化して読み取れるよう、スライドやワークシートを活用する。
- ・ 自分の意見や考えは、Google スライドや Jamboard、Padlet などに書き込んで伝え合うようにする。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	算数科のデータ（情報通信技術や利用）について、自分たちの体験や経験と関連づけながら話し合うことで、社会や生き方について考え、学習課題をつかむ。
2	学習課題の解決のため、国語科「メディアと人間社会」の筆者の主張を読み取り、自分の考えを Google スライドに書く。
3	国語科「大切な人とつながるために」の筆者の主張を「メディアと人間社会」の主張と比べ、自分の考えを Google スライドに書く。
4	前時までに書いた考えをもとにして、グループで「これからの社会でどう生きていくか」について話し合い、Jamboard に記録する。 話し合ったことを全体で共有するとともに、世界の動きも知る。 より広い視野から未来に向けて、自分の考えを Padlet に書いて発信する。

ページ執筆：近田由紀子



鎌倉時代の人々の生活や文化、心情に触れ、現代との共通性を見だしつつ、古文への関心を高めます。現代語の中の古語に気付いたり、現代語と古語の違いを見つけたりしながら、文語文法の基本の定着をはかります。同じ時代の在住国のようすと比較・考察することで、現地の高校で学びを深めている生徒たちの知的好奇心を生かしていきます。

使える授業テクニック

- ・ 取り扱う古典作品の時代背景や、同時代の在住国の状況を調べることで、興味を引き出す。
- ・ 現代でも使われている古語や広く知られている昔話を通して、親近感をもつ。
- ・ ペアでの音読や暗唱大会を通して、古語の響きに親しむ。
- ・ NHK for School などの関連動画を利用して、視覚的な理解を深める。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	宇治拾遺物語とその背景を知り、歴史的仮名遣いの文章を読む。 ・ 宇治拾遺物語に収められた有名な説話を紹介する。 ・ 鎌倉時代の出来事や文化、同時代のイタリアのようすなど、家庭で調べたことを発表し合う。 ・ 歴史的仮名遣いに注目しながら、ペアで音読する。
2	話の大まかな流れをつかみ、登場人物の心情を考える。 ・ 登場人物の発言や心情を書き出し、現代人の自分たちと比べる。 ・ NHK for School の動画で確認する。
3	古文の文法的特徴を捉える。 ・ 本文と現代語訳を比べ、共通点と相違点を見つける。 ・ 助詞の省略や動詞の活用など、文語文法の基本事項をおさえる。

ページ執筆：渋谷真樹



現地校等でも数学を学びますが、学んだ概念や考え方を日本語で表現できるようにしなければなりません。下級生に教えるという場面を作ること、数学的な理解を深めるとともに、日常生活の中にあることから「数学的に」表現する力を育てます。

！ 使える授業テクニック

- ・ たくさんの具体例をグループごとに集めさせる。
- ・ イラスト、グラフなど文字以外の手段を使って言葉による表現を助ける。
- ・ 発表会のような機会を作って目標を持たせる。



学習活動計画ダイジェスト

時	学 習 活 動
1	ともなって変わる x と y の例を集める。 ・ 関数の意味を理解し、表やグラフに表わす。
2	x が増加すれば y も増加する例を集める。 ・ $y=ax$ で表せる関係を「比例」と定義する。(a が負の数の場合もある。)
3	比例の物語を作り、グラフを描く。
4	x が増加すれば y が減少する例を集める。 ・ $y=a/x$ の関係を「反比例」と定義する。(a が負の数の場合もある。)
5	反比例の物語を作り、グラフを描く。
6	小学校6年生に「比例」「反比例」を説明するスライドを作る。 ・ 具体的な例を紹介し、グラフも見せる。
7	6年生に、スライドを使って「比例」「反比例」を説明する。 ・ よく分かったかどうか6年生にフィードバックをもらう。

授業担当者

井原 美奈	ミラノ	グリーン方子	デトロイト
イレレジ礼子	インディアナ	佐藤 恵美	ダラス
上野 更	ダラス	末沢 敦子	シンシナティ
馬橋 直子	ケタロ	田村 敦子	ダラス
大野真由美	ダラス	バーバー悦子	ダラス
長本 玲子	ダラス	羽根田美智子	ダラス
笠原 朋子	プリンストン	福嶋加代子	ワシントン
上笹貴陽子	ダラス	森 寛二	ダラス
木下 美香	ダラス	湯村 絵里	シアトル四つ葉学院
ギャリス裕美子	ダラス		

AG5 補習校チーム

雨宮 真一	東京学芸大学附属国際中等教育学校副校長
今澤 悌	甲府市立大岡小学校教諭
岡村 郁子	東京都立大学教授
近田由紀子	目白大学専任講師
佐々 信行	海外子女教育振興財団教育相談員
渋谷 真樹	日本赤十字看護大学教授
三井 知之	海外子女教育振興財団教育相談員

みんなの日本語を伸ばす授業づくりアイデア 31

2022 年 2 月

編著者 ● 在外教育施設の高度グローバル人材育成拠点事業
AG5運営指導委員会

発行者 ● 公益財団法人海外子女教育振興財団
理事長 綿引 宏行

連絡先 ● 公益財団法人海外子女教育振興財団内
AG5事務局
〒105-0002
東京都港区愛宕一丁目3番4号
愛宕東洋ビル6階
E-MAIL : ag5@joes.or.jp
TEL : 03-4330-1352
FAX : 03-4330-1355

印刷所 ● 株式会社トック企画



公益財団法人
海外子女教育振興財団
Japan Overseas Educational Services

